

# 生活介護事業を開始

障害ある三木の畠山哲人さん

## 小野で運営の作業所改装

左半身まひなどの障害がある畠山哲人さん(43)は三木市志染町井上が理事長を務め、運営してきたNPO法

人「ベンチマークぷらす」がこのほど、障害者に入浴やトイレの介護、創作活動の機会などを提供する生活介護事業を始め、多機能型事業所「ぶらす」とし

畠山さんは2010年に脳出血に倒れ、高次脳機能障害などが残る。就職できず苦労し

た経験から、三木市内に作業所を昨年7月に

開設。今年6月には特別支援学校の元校長から借りた民家を改装し、現在地に移転した。生活介護事業を始めたのは「支援区分の比較的軽い人の自立を促すことで、作業所に行けるようステップアップしてほしい」との願いから。リフト付きの

利用時間は月～金曜午前10時～午後3時半。18～65歳が6人まで利用でき、送迎もある。同法人 0794・60・2766 (大島光貴)

浴室を備え、トイレも車いす仕様にした。介護福祉士やヘルパー、看護師らも雇つた。



上 生活介護事業を始めるために新設した浴室のリフトを操作する畠山哲人さん 下 壁に描かれたシンボルツリーの前に集まる「ぶらす」のスタッフら=いずれも小野市樫山町